

高級二枚貝「タイラギ」の養殖に貢献

発明の名称： タイラギを垂下養殖するための養殖用器具、海洋生物の付着防御器具
 発明者： 前野幸男、鈴木健吾、高木儀昌
 番号： 特願2008-227299、特願2008-227300 管理番号161,162

[目的] 有明海など内湾域を中心に生息する大型二枚貝「タイラギ」は、高級寿司店や料亭などで高値で取引される重要種です。しかし、その資源量は環境悪化等により壊滅的な状態で、漁業者からの養殖技術の確立が強く望まれています。タイラギの生産回復のため、専用器具を開発して垂下養殖に成功しました。

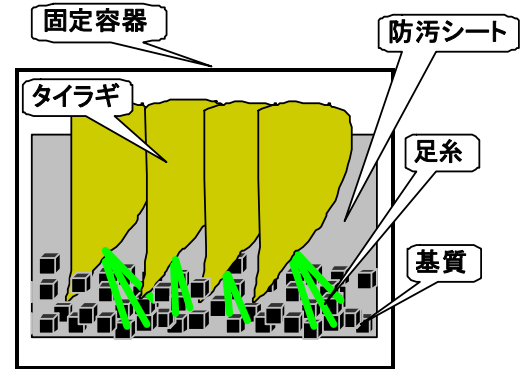
[開発のポイント] 【タイラギにとって好適な場所を作ってあげる】
 タイラギは砂や泥に潜って生活しており、砂などに代わる軽くて取り扱い性能に優れた基質を入れたカゴやネットが必要。無煙炭(アンスラサイト)を使うことで優れた成績を示すことが判明。
 問題→軽すぎてタイラギが飛び出して逸散してしまう。付着物に覆われて死んでしまう。



丸カゴで生育するタイラギ。アンスラサイトと防汚処理カゴで高密度飼育が可能となった。



付着器に足糸でくっついたタイラギ。これにより、飛び出して行方不明になることを防いだ。



真珠ネットを加工して作成したタイラギ専用の養殖ネット。このネットで出荷サイズまで飼育することが可能。



3ヵ月 7ヵ月 12ヵ月 14ヵ月 17ヵ月 (孵化後日数)



- [解決したこと]**
1. タイラギに逃げられないために、分泌した足糸(そくし)が付着するような固定器を開発。これでタイラギに逃げられなく、歩留まりが上昇。
 2. 生物に安全な付着生物防汚剤をカゴやネットに塗布。専用のシートと組み合わせ、フジツボなどの付着を強力に阻害することに成功。

今後タイラギ養殖の普及が期待されます！



出荷サイズまで成長したタイラギ